	 分野名		科目名	
	単位数	1	授業時間数	30
	開講年次	1	開講期間	前期
	担当教員	専任講師*	1	*実務経験のある教員
	目的	保健医療福祉サービスにおける看護 を身につける。	の役割・機能を理解し、専	門職業人として必要となる基礎的知識
1. (看護の概念を理解し、看護の本質と機能についる。(生活者である人間と家族・集団・地域を含めたる。(多様な健康状態と要因・健康指標を理解し、国の協働について述べる。4. (看護職の資格と養成制度について述べる。5. 医療・看護に関連する制度や看護提供のしく6. (医療・看護に関わる倫理的な視点について理解				持増進に必要な看護活動と他職種と
	成績評価の 方法と基準	※成績評価については、各方法が評 ①レポート提出:ナイチンゲール「看記 ②筆記試験:80%		
使月	用テキスト・教材	1)茂野香おる他著:系統看護学講座 2)フロレンス・ナイティンゲール著:看 葉子翻訳、日本看護協会出版会、20	護覚え書き一本当の看護]看護学概論、医学書院、2024. とそうでない看護、小玉香津子・尾田
履	・教科書の該当ページを読み、各単元の理解を深 で事例の理解を深めることにより、看護の概念と実 ・課題学習により、この科目の重要事項についてヨ ・当科目のレポートは個人で作成するものです。レ ポートを模倣したもの、AIにより作成したものは採			を深めましょう。 あたり、他者との共同作業や他者のレ
No		学習内容	学習方法	担当教員
1.	看護の本質 1)看護の原点 2)	看護の歴史的変遷	講義	専任講師*
2.	看護の定義と看護実 3)看護実践の質保	選践の質保証 1)看護の定義 2)ケアと 証 4)看護者に求められる役割機能	講義	専任講師*
3.	看護の対象の理解 1)人間のこころとから		講義	専任講師*
4.	健康のとらえ方 1)健康の理解 2)	障害の理解 3)ヘルスプロモーション	講義	専任講師*
5.	看護の対象の理解	3)生活者としての人間の理解	講義	専任講師*
6.	国民のライフサイクル	レと健康・生活、現代日本の社会背景	講義	専任講師*
7.	看護の理論と実践 1)看護理論の変遷	2)著名な看護理論家	講義	専任講師*
8.	看護の理論と実践	ゲール「看護覚え書き」の学習	課題レポート作成	専任講師*
9.	看護の提供者 1)職業としての看護		講義	専任講師*
10.	看護の提供者		講義	専任講師*
11.	看護提供のしくみ		講義	専任講師*
12.	看護提供のしくみ		講義	専任講師*
13.	看護提供のしくみ		講義	専任講師*
14.	看護における倫理	1)現代社会と倫理 2)医療をめぐる倫理の 6倫理問題への取り組み	の歴史的経緯 講義	専任講師*
15.	単位修得試験		筆記試験	専任講師*
16.				

専任講師*

専任講師*

講義

演習

				2
	分野名	基礎看護学	科目名	看護の基本技術I
	単位数	1	授業時間数	30
	開講年次	1	開講期間	前期
	担当教員	専任講師*		*実務経験のある教員
目的 人間関係の成立と対象の安全・安楽を、守る技術が実施できる基本的知識・技術・態度を る。			る基本的知識・技術・態度を身につけ	
	目標	1. 看護技術の特徴を述べる。 2. 看護における安全・安楽、安心を 3. 安全・安楽を阻害する因子を説明 4. 安全安楽に対して責任ある態度を 5. 人間関係を成立させるための技術 6. 人間関係を成立させるための技術 7. 対象の安全を守るための感染予 8. 対象の安全を守るための感染予 9. 看護者として必要な態度を表現す	する。 表現する。 	る。
	成績評価の 方法と基準	※成績評価については、各方法が評単位認定試験85% レポート・課)を示す
使	用テキスト・教材	教科書:基礎看護技術 I 基礎看護学	中②、基礎看護技術Ⅱ基礎	差看護③、
履	修にあたっての 留意点	・指示された時のみスマートフォンの ・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、	て望むこと。 こと。	
履 No		・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する	て望むこと。 こと。	担当教員
	留意点	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容	て望むこと。 こと。 学びはまとめること。	担当教員 専任講師*
No	留意点	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容	て望むこと。こと。 学びはまとめること。 学習方法	
No 1. 2.	留意点 「技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容	て望むこと。こと。 学びはまとめること。 学習方法 講義	専任講師*
No 1.	留意点 「技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ	・事前学習、事前準備をしっかり整え・課題の指定された期日は厳守する・授業内容を振り返り、授業ポイント、学習内容 ・対象のを振り返り、授業ポイント、 学習内容 ・ できると、 できる。 できると、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	て望むこと。 こと。 学びはまとめること。 学習方法 講義 講義	専任講師*
1. 2. 3.	留意点 「技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ安全・安楽の意義、安全を守る技術・安	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容 ・ 学習内容 ・ 一ション 安全・安楽を阻害する因子 楽を高める技術 の意義と目的	て望むこと。 こと。 学びはまとめること。 学習方法 講義 講義 講義	専任講師* 専任講師* 専任講師*
1. 2. 3. 4.	留意点 「技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ 安全・安楽の意義、 安全を守る技術・安	・事前学習、事前準備をしっかり整え・課題の指定された期日は厳守する・授業内容を振り返り、授業ポイント、学習内容 ・	て望むこと。 こと。 学びはまとめること。 学習方法 講義 講義 講義 講義	専任講師* 専任講師* 専任講師* 専任講師* 専任講師*
1. 2. 3. 4. 5. 6.	留意点 「技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ 安全・安楽の意義、 安全を守る技術・安 「コミュニケーションの」で関係構築のための 効果的なコミュニケー	・事前学習、事前準備をしっかり整え・課題の指定された期日は厳守する・授業内容を振り返り、授業ポイント、学習内容 ・特徴 ・一ション 安全・安楽を阻害する因子 楽を高める技術 の意義と目的 の構成要素と成立過程 のコミュニケーション 接近的行動と非接近的 ーション	て望むこと。 こと。 学びはまとめること。 学習方法 講義 講義 講義 講義 講義 講義	専任講師* 専任講師* 専任講師* 専任講師*
No 1. 2. 3. 4. 5. 6.	留意点 『技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ 安全・安楽の意義、安全を守る技術・安 『コミュニケーションの』 『関係構築のための 効果的なコミュニケー 傾聴の技術、情報地	・事前学習、事前準備をしっかり整え・課題の指定された期日は厳守する・授業内容を振り返り、授業ポイント、学習内容 ・でである技術である。 ・では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一	て望むこと。 こと。 学ではまとめること。 学習方法 講義 講義 講義 講義 講義 一ルプレイ	專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師*
1. 2. 3. 4. 5. 6.	留意点 「技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ安全・安楽の意義、安全を守る技術・安 「コミュニケーションの」 「関係構築のための効果的なコミュニケー 順聴の技術、情報収事例を用いたコミュニ	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容 ・一ション 安全・安楽を阻害する因子 楽を高める技術 の意義と目的 の構成要素と成立過程 のコミュニケーション 接近的行動と非接近的 ーション 又集の技術、説明の技術 ニケーションの実際	て望むこと。 二と。 学びはまとめること。 学習方法 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師*
No 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	留意点 『技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ 安全・安楽の意義、安全を守る技術・安 『コミュニケーションの』 『関係構築のための 効果的なお、情報・ 事例を用いたコミュニ 事例を用いたコミュニ 事例を用いたコミュニ	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容 ・一ション 安全・安楽を阻害する因子 楽を高める技術 の意義と目的 の構成要素と成立過程" のコミュニケーション 接近的行動と非接近的 ーション 収集の技術、説明の技術 ニケーションの実際 ニケーションの実際	て望むこと。	專任講師*
No 1. 2. 3. 4. 5. 6.	留意点 「技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ 安全・安楽の意義、安全を守る技術・安 「コミュニケーションの」 「関係構築のための効果的な技術、情報中事例を用いたコミュニケーション障」	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容 ・一ション 安全・安楽を阻害する因子 楽を高める技術 の意義と目的 の構成要素と成立過程" のコミュニケーション 接近的行動と非接近的 ーション 双集の技術、説明の技術 ニケーションの実際 ニケーションの実際	て望むこと。 こと。 学ではまとめること。 学習方法 講義 講義 講義 講義 は講義 は講義 は関係を表する。	專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師* 專任講師*
1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.	留意点 『技術の概念 看護技術の意義、特技術演習オリエンテ 安全・安楽の意義、安全を守る技術・安 『コミュニケーションの』 『関係構築のための 効果的なお、情報・ 事例を用いたコミュニ 事例を用いたコミュニ 事例を用いたコミュニ	・事前学習、事前準備をしっかり整え ・課題の指定された期日は厳守する ・授業内容を振り返り、授業ポイント、 学習内容 ・一ション 安全・安楽を阻害する因子 楽を高める技術 の意義と目的 の構成要素と成立過程" のコミュニケーション 接近的行動と非接近的 ーション 双集の技術、説明の技術 ニケーションの実際 ニケーションの実際 き書への対応 □識	て望むこと。	專任講師*

"洗浄・消毒・滅菌の基礎知識 無菌操作"

単位認定試験

"標準予防策の実際(衛生的手洗い・防護用具の装着) 無菌操作の実際

13.

14.

15.

16.

	分野名	基礎看護学	科目名	看護の基本技術Ⅱ	
	単位数	1	授業時間数	30	
	開講年次	1	開講期間	前期	
	担当教員 専任講師*			*実務経験のある教員	
	目的	人間の動きのメカニズムを理解し、安 を身につける。	全で安楽な環境を整える	るために必要な基礎的知識・技術・態度	
1.ボディメカニクスの意義を説明する。 2.看護場面の姿勢と動作を説明する。 3.対象の安楽な体位を実施する。 4.対象の体位変換・移動・移送を実施する。 5.対象の環境に対する欲求を充足できる技術の概 6.就床患者のリネン交換を実施する。 7.看護師として必要な態度を表現する。 8.看護に対する興味・関心を表現する。				-ెం.	
	成績評価の 方法と基準	※成績評価については、各方法が評 単位修得試験100%	価全体に占める割合(%	か)を示す	
使月	用テキスト・教材	教科書:基礎看護技術 II 基礎看護学 ダーソンの基本的看護に関する看護			
履任	修にあたっての 留意点	指示された時のみ、スマートフォンの使用を許可する。事前学習、事前準備を整え臨むこと。 課題の指定された提出期日は厳守すること。			
No		学習内容	学習方法	担当教員	
1.	良い姿勢とは・ボディ	ィメカニクスの意義	講義	専任講師*	
2.	ボディメカニクスの基	礎、体位	講義	専任講師*	
3.	移動の援助1〈歩行・	移乗•移送〉	シミュレーショ	ッ 専任講師*	
4.	移動の援助2〈体位3	变換〉	シミュレーショ	ッ 専任講師*	
5.	安楽な体位の援助く	体位保持・ポジショニング〉	講義	専任講師*	
6.	安楽な体位の援助・	まとめ〈体位変換・歩行・移乗・移送〉	シミュレーショ	専任講師*	
7.	演習「移動動作」		演習	専任講師*	
8.	演習「移動動作」		演習	専任講師*	
9.	生活環境の意義		講義	専任講師*	
10.	援助の実際 :「クローズドベッド」		演習	専任講師*	
11.	演習 「クローズドベッド」		演習	専任講師*	
12.	援助の実際:「臥床患者のリネン交換・環境整備」		演習	専任講師*	
13.	援助の実際:就床患者のリネン交換・環境整備」		演習	専任講師*	
14.	4. 病床環境とは まとめ		講義・グループワー	専任講師*	
15.	単位修得試験			専任講師*	
16.					

	分野名	基礎看護学	科目名	対象把握の技術
	単位数	1	授業時間数	30
月	開講年次	1	開講期間	通年
扎	担当教員	専任講師*		*実務経験のある教員
	目的	対象の健康状態を適切に把握するた	よめに必要な基礎的知識・	技術・態度を身につける。
1. ヘルスアセスメントの重要性を説明する。 2. 健康歴聴取の目的とセルフケア能力のアセスメントの必要性を述べる。 3. バイタルサインの測定を実施できる。 4. フィジカルアセスメント技術を実施する。 5. 心理・社会状態のアセスメントの必要性を述べる。 6. 看護記録や報告の目的、記載時の留意事項を述べる。 7. 症状・生体機能管理技術を種類別に述べる。 8. 診察・検査・処置の介助の概要を述べる。 9. 看護師として必要な態度を表現する。 10. 看護に対する興味・関心を表現する。				生を述べる。
成績評価の 方法と基準 ※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合(%)を示す 単位認定試験100%(対象把握の技術70% 症状・身体機能管理技術/診察・検査・処置におい 術30%)				
使用元	テキスト・教材	系統看護学講座 専門分野 基礎和 系統看護学講座 専門分野 基礎和		
・指示された時のみスマートフォンの使用を許可する。 ・事前学習、事前準備をしっかり整えて望むこと。 ・課題の指定された期日は厳守すること。 ・グループワークでは他者の意見を尊重し積極的に参加すること。 ・授業内容を振り返り、授業ポイント、学びはまとめること。			: د .	
No		学習内容	学習方法	担当教員
	ヘルスアセスメントとはなにか 健康歴とセルフケア能力のアセスメント		講義	専任講師*
2. バ			講義	専任講師*
3. バ	バイタルサインの測定とアセスメント 血圧		講義	専任講師*
4. 血	. 血圧測定		講義	専任講師*
5. 意	試識∙計測∙看護記釒	禄と報告	講義	専任講師*
6. フ	 ィジカルアヤスメン		講義	————————————— ■ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

No	子省內谷	学省万法	担
1.	ヘルスアセスメントとはなにか 健康歴とセルフケア能力のアセスメント	講義	専任講師*
2.	バイタルサインの測定とアセスメント 脈拍・体温・呼吸	講義	専任講師*
3.	バイタルサインの測定とアセスメント 血圧	講義	専任講師*
4.	血圧測定	講義	専任講師*
5.	意識・計測・看護記録と報告	講義	専任講師*
6.	フィジカルアセスメント 呼吸器系・循環器系・腹部	講義	専任講師*
7.	フィジカルアセスメント 乳房・腋窩・神経・頭頂部・感覚器 心理・社会的側面のアセスメント	講義	専任講師*
8.	バイタルサイン測定 フィジカルアセスメント	デモンストレーション	専任講師*
9.	バイタルサイン測定演習・フィジカルアセスメント演習	演習	専任講師*
10.	バイタルサイン測定演習・フィジカルアセスメント演習	演習	専任講師*
11.	症状・生体機能管理技術の基礎知識 生体情報のモニタリング	講義	専任講師*
12.	診察・検査・処置の介助技術	講義	専任講師*
13.	検体検査	講義	専任講師*
14.	穿刺	講義	専任講師*
15.	単位認定試験		
16.			

	分野名 基礎看護学 科目		科目名		生活を整える技術 Ι
	単位数	1	授業時間数		30
	開講年次	1	開講期間		通年
	担当教員	専任講師*			*実務経験のある教員
	目的	対象が動く・眠る・清潔を保つことの基につける。	基本的欲求を理解し	、日常的]援助の基本的知識・技術・態度を身
	目標	1. 活動・休息の意義を説明する。 2. 清潔と衣生活の意義を説明できる 3. 清潔援助の基本技術が習得できる 4. 看護師として必要な態度を表現す	る。		
	成績評価の 方法と基準	※成績評価については、各方法が評単位認定試験100%	価全体に占める割	合(%)を	. 示す
使是	用テキスト・教材	系統看護学講座 基礎看護技術 II 基礎看護技術第8版			
履	修にあたっての 留意点	デモストレーションの時は、スマートフ	7ォン(タブレット可) マ	を使用し	ます。
No		I	学習	方法	担当教員
1.	活動•休息 1. 活動		講義		専任講師*
2.	2. 休息 1)休息と睡眠		講義		専任講師*
3.	3. 清潔・衣生活 1)清潔援助の基礎領	知識	講義		専任講師*
4.	3)病床での衣生活の	り援助	講義		専任講師*
5.	4. 入浴ができない場 1)部分浴	易合の援助	講義		専任講師*
6.	ケリーパットを用いた	- 洗髪の援助技術	講義・デモス	ストレーション	専任講師*
7.	ケリーパットを用いた	洗髪の援助技術	校内潭	習	専任講師*
8.	ケリーパットを用いた	洗髪の援助技術	校内演	官習	専任講師*
9.	全身清拭·寝衣交換	の援助技術	講義・デモス	ストレーション	専任講師*
10.	全身清拭・寝衣交換の援助技術		校内潭	智	専任講師*
11.	全身清拭・寝衣交換の援助技術		校内沒	習	専任講師*
12.	手浴・足浴・陰部洗浄の援助技術		講義・デモス	ストレーション	専任講師*
13.	3. 足浴・陰部洗浄の援助技術		校内演	官習	専任講師*
14.	足浴・陰部洗浄の援助技術		校内演	智	専任講師*
15.	終講時筆記試験				専任講師*
16.					
	<u>I</u>			<u> </u>	

分野名		基礎看護学	科目名	生活を整える技術 Ⅱ
	単位数			30
	開講年次	1	開講期間	
	担当教員	専任講師*		*実務経験のある教員
	目的	対象が食べる・排泄することの基本的 つける。	り欲求を理解し、日常生活	援助の基本的知識・技術・態度を身に
1.対象の食事に対する欲求を充足できる技術の概要を説明する。 2.対象に適した食事の援助を実施する。 3.対象の排泄に対する欲求を充足できる技術の概要を説明する。 4.対象に適した床上排泄の援助を実施する。 5.対象に原則に基づいた導尿・浣腸を実施する。 6.看護師として必要な態度を表現する。 7.看護に対する興味・関心を表現する。				
	成績評価の 方法と基準	※成績評価については、各方法が評単位修得試験80% レポート提出20		を示す
使	用テキスト・教材	教科書:基礎看護技術 II 基礎看護学 学、看護の基本となるもの、看護過程		
履	修にあたっての 留意点	指示された時のみ、スマートフォンの 課題の指定された提出期日は厳守す		3、事前準備を整え臨むこと。
No		学習内容	学習方法	担当教員
1.	1.食事と栄養 A.食事援助の基礎気	口識	講義	専任講師*
2.	B.食事摂取の援助		講義	専任講師*
3.	C.摂食·嚥下訓練 D.非経口栄養摂取0	D基礎知識	講義	専任講師*
4.	援助の実際「食事	援助」とまとめ	演習・講義	専任講師*
5.	2.排泄 A.自然排尿および自	然排便の介助	講義	専任講師*
6.	A.1)自然排尿および	自然排便の基礎知識	講義	専任講師*
7.	A.2)自然排尿および	自然排便の介助の実際・床上排泄への援助	講義シミュレー	専任講師*
8.	B.導尿 目的·種類·方法		講義	専任講師*
9.	B.援助の実際 「一時的導尿:女性の場合」		デモンストレーション	専任講師*
10.	0. B.援助の実際 「一時的導尿:女性の場合」		演習	専任講師*
11.	C.排便を促す援助 浣腸、摘便の基礎知識		演習	專任講師*
12.	12. C. 便器挿入の技術		デモンストレーション	専任講師*
13.	13. C.援助の実際 「グリセリン浣腸」		演習	専任講師*
14. C.援助の実際 「グリセリン浣腸」		演習	専任講師*	
15.	単位修得試験		試験	專任講師*
16.				

分野名		基礎看護学	科目	名	与薬に伴う技術
	単位数	1	授業時	 持間数	30
	開講年次	1	開講	期間	後期
	担当教員	専任講師*			*実務経験のある教員
	目的	対象へ安全で正確な与薬を実施する	ために必要な	は基礎的知識	・技術・態度を身につける。
1.与薬の目的と種類を説明する。 2.薬物の取り扱い上の法的責任と正しい管理を説明。 3.安全で正確な与薬を行うための原則と留意点を記事。 4.各与薬法における安全で正確な方法を説明する。 5.エビデンスに基づいた注射実施時の援助を説明。 6.輸血時の安全な方法を説明する。 7.モデルに筋肉内・皮下・静脈内注射を安全に正確。 8.看護師として必要な態度を表現する。 9.看護に対する興味・関心を表現する。				説明する。 。 する。	
	成績評価の 方法と基準	※成績評価については、各方法が評単位修得試験80%課題20%	価全体に占め	うる割合(%)	を示す
使月	用テキスト・教材	系統看護学講座 専門分野 基礎 基礎看護技術 第8版 医学書院 トートラ人体解剖生理学 原書11版			医学書院
履	修にあたっての 留意点	指示された時のみ、スマートフォンの 課題の指定された提出期日は厳守す		る。事前学習	3、事前準備を整え臨むこと。
No		学習内容		学習方法	担当教員
1.	与薬の基礎知識			講義	専任講師*
2.	与薬に関する看護的	市の役割		講義	専任講師*
3.	薬の相互作用、経口	1・口腔内与薬		講義	専任講師*
4.	注射の基礎知識、輔	前血の基礎知識		講義	専任講師*
5.	与薬の実際			デモンストレーション	専任講師*
6.	与薬の実際			演習	専任講師*
7.	注射の準備			講義	専任講師*
8.	注射の準備			演習	専任講師*
9.	注射の実際(筋肉・症	支下・皮内)		デモンストレーション	専任講師*
10.	注射の実際(筋肉・皮下)			演習	専任講師*
11.	注射の実際(筋肉・皮下)			演習	専任講師*
12.	2. 注射の実際(静脈内注射)・輸液速度			デモンストレーション	専任講師*
13.	13. 注射の実際(静脈内注射)・輸液速度			演習	専任講師*
14.	4. 注射の実際(静脈内注射)・輸液速度			演習	専任講師*
15.	単位修得試験				
16.					

	分野名	基礎看護学	科目名	臨床看護学総論
	単位数	1	授業時間数	30
	開講年次	1	開講期間	後期
	担当教員 専任講師*			*実務経験のある教員
	目的	健康障害をもつ対象の健康状態と症 度を身につける。	状に応じた看護を実施する	るために必要な基礎的知識・技術・態
1.健康状態に応じた看護の特徴を述べる。 2.主要な症状を示す対象者への看護の概要を述べる。 3.酸素投与・吸引の目的・原理・原則を説明する。 4.酸素投与・口腔内吸引の目的・原理・原則を説明する。 5.安全で効果的に罨法を貼用する方法を説明する。 6.安全で効果的に罨法を実施する。 7.看護師として必要な態度を表現する。 8.看護に対する興味・関心を表現する。				
	成績評価の 方法と基準	※成績評価については、各方法が評 単位認定試験100%	価全体に占める割合(%)	を示す
使是	用テキスト・教材	系統看護学講座 基礎看護技術 II 系統看護学講座 臨床看護総論 基礎看護技術第8版		
履	修にあたっての 留意点	看護過程の講義資料を使用します。 成人看護学のテキストも参考にします。		
No		学習内容	学習方法	担当教員
1.	健康状態の経過と看1.人とライフサイク		講義	専任講師*
2.	4)子供の理解と看記 5)成人の理解と看記		講義	専任講師*
3.	主要症状・治療別看 1. 症状の捉え方	護	講義	専任講師*
4.	3. 浮腫(脱水) 4. 倦怠感		講義	専任講師*
5.	5. 発熱		講義	専任講師*
6.	健康状態の経過と看 2. 健康状態の経過		講義グループワー	専任講師*
7.	事例展開		講義グループワー	専任講師*
8.	2)急性期 事例展開	開	講義グループワー	専任講師*
9.	事例展開		講義グループワー	専任講師*
10.	3)回復期		講義グループワー	専任講師*
11.	4)終末期 事例展開		講義グループワー	専任講師*
12.	5)医療機器		講義グループワー	専任講師*
13.	氷枕、湯たんぽ演習		校内演習	専任講師*
14.	酸素ボンベ、口腔内	吸引演習	校内演習	専任講師*
15.	終講時筆記試験			専任講師*
16.				

	 分野名	基礎看護学	科目	名	看護過程
	単位数	1	授業時	 時間数	30
	開講年次	1	開講	期間	通年
	担当教員	専任講師*			*実務経験のある教員
	目的	 看護の対象の健康上の問題を解決す	するために必須	要な基礎的知	識・技術・態度を身につける。
	目標	1. 対象の健康上の問題の解決と看 2. クリティカルシンキングの必要性を 3. 看護過程の各構成要素の定義を 4. 事例に応じた看護過程を展開する	E述べる。 述べる。	を説明する。	
	成績評価の 方法と基準	 ※成績評価については、各方法が評 中間レポート提出15% 最終レオ			を示す 忍定試験50%
使月	用テキスト・教材	"基礎看護技術 I 基礎看護学②、看 ヘンダーソンの基本的看護に関する			
履位	履修にあたっての 『指示されたときのみ、スマートフォンの使用を許可する。事前学習、事前準備を整え臨むこと。 留意点 課題は指定された提出期日を厳守すること。"				全習、事前準備を整え臨むこと。
No		学習内容		学習方法	担当教員
1.	看護過程の定義、看	護過程展開の基盤となる考え方		講義	専任講師*
2.	情報収集のためのへ	、ンダーソンの3つの視点、14項目の枠組み	"	講義	専任講師*
3.	事例紹介、情報収集	、情報の整理・分類		講義・GW	専任講師*
4.	14項目アセスメントシ			講義・GW	専任講師*
5.	アセスメントの実際			講義•GW	専任講師*
6.	アセスメントの実際			講義•GW	専任講師*
7.	アセスメントの実際			講義•GW	専任講師*
8.	アセスメントの実際			講義•GW	専任講師*
9.	関連図(全体像)につ	りいて		講義•GW	専任講師*
10.	関連図(全体像)について			講義•GW	専任講師*
11.	1. 問題の明確化、優先順位のつけ方、問題リストの活用			講義•GW	専任講師*
12.	2. 看護計画立案、期待される結果、具体策			講義・GW	専任講師*
13.	3. 看護計画立案、期待される結果、具体策			講義•GW	専任講師*
14.	結果·評価			講義・GW	専任講師*
15.	単位修得試験				専任講師*
16.					

単位数 2 授業時間数 45 開講年次 1 開講期間 通年 担当教員 専任講師* *実務経験のある 目的 対象の状態に応じた看護を実践するために、複数の看護技術を統合する基礎的知識・技 身につける 1. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 2. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 2. 看護の対象となる人のとない。後事する 3. 対象把握の対象で活用して、事例に応じた援助を実施する 6. 実施した援助を評価する 7. 看護師とした必要な態度を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 8. 看護に対する現味・関心を表現する 8. 看護に対する現味・関心を表現する 「持済された時のみ、スマーンアンの使用を許可する事前で習、事前で習、事前を書、表面をこと 課題の指定された提出期限は厳守すること No 学習内容 学習内容 学習方法 担当教員 1. 自分の生活と他者の生活の違い グループワーク 専任講師・登場の特徴、年代や実験での健康維持について グループワーク 専任講師・生活の現なで地域の現、他地域との比較 グループワーク 専任講師・生活の視点で地域の現、他地域との比較 グループワーク 専任講師・生活の視点で地域の現、他地域との比較 グループワーク 専任講師・技術演習を設定していての生活② 地域の中での生活② 地域の中での生活③ 地域の中での生活② 地域の中での生活③ 1. 最近に対する。 単位講師・事任講師・事任講師・事任講師・事任講師・事任講師・事任講師・事任講師・事任				21		
開講類問 通年	分野名	基礎看護学	科目名	基礎看護技術統合演習		
担当教員 専任講師* *実務経験のある 大阪の	単位数 2 授業時		授業時間数	45		
日的 対象の状態に応じた看護を実践するために、複数の看護技術を統合する基礎的知識・技身につける 1. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 2. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 2. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 4. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 4. 看護の基本技術・生活を整える技術を活用して、事例に応じた援助を実施する 5. 紙上事例に応じた看護計画を変化、援助を実施する 6. 実施した足動を評価する 7. 看護師として必要な態度を表現する 8. 看護に対する関味・関心を表現する 8. 看護に対する関味・関心を表現する 8. 看護に対する関味・関心を表現する 8. 看護に対する関・型・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	開講年次 1 開講		開講期間	通年		
日野 身につける 1. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 2. 看護の対象となる人と生活の場がわかる 2. 看護の対象となる人の反応を感じ、名葉する 3. 対象把握の技術を活用して、事例に応じた援助を実施する 5. 紙上事例に応じた看護計画を立案し、援助を実施する 7. 看護師として必要な態度を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 8. 看護に対する興味・関心を表現する 2. 世域の主なり、技術試験40% 使用テキスト・教材 数科書:基礎看護技術 I 基礎看護学②、基礎看護技術 II 基礎看護学③、看護の基本と 護過程を使ったヘンダーソン 看護論の実践、ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問 服修にあたっての 指示された時のみ、スマートフォンの使用を許可する 事前学部、事前学部、事前学部、事前学語、表記さこと 課題の指定された提出期限は厳守すること 2. 地域の中での生活④ 2. 地域の中での生活の違い グルーブワーク 専任講師* 地域の中での生活③ 地域の中での生活③ 地域の中での生活の遺い グルーブワーク 専任講師* 4. 生活の視点で地域の現、他地域との比較 グルーブワーク 専任講師* 生活の視点で地域の現、他地域との比較 グルーブワーク 専任講師* 生活の視点で地域の現、他地域との比較 グルーブワーク 専任講師* 年代等監視点で地域の現、他地域との比較 グルーブワーク 専任講師* 年代等監視点で地域の現、他地域との比較 第4、演習 専任講師* 東任講師* 東田 東任講師* 東任講師* 東任講師* 東田 東田 東田 東田 東田 東田 東田 東	担当教員専	専任講師*		*実務経験のある教員		
日標 2 看護の対象となる人の反応を感じ、省察する 3 対象の状態がわかる 4 看護の基本技術・生活を整える技術を活用して、対象の状態がわかる 6 実施した援助を評価する 7 看護師と立案し、援助を実施する 6 実施した援助を評価する 7 看護師と立案し、援助を実施する 8 看護に対する異味・関心を表現する 8 行きを表 8 数科書:基礎看護技術 I 基礎看護学②、基礎看護技術 II 基礎看護学③、看護の基本と 1 基礎を使ったヘンダーソン看護論の実践、ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問 2 提示とれた時のみ、スマートフォンの使用を許可する 事前学習、事前準備を整え臨むこと 課題の指定された提出期限は厳守すること 9 学習方法 担当教員 1 総会演習の進め方 9ループワーク 専任講師・地域の特徴、年代や家族での健康維持について グループワーク 専任講師・地域の中での生活② 地域の特徴、年代や家族での健康維持について グループワーク 専任講師・生活が現の中での生活② 2 地域の中での生活③ グループワーク 専任講師・生活が裏の様に対しての現まる。 5 オリエンテーション 第 任講師・事任講師・ 4 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 8 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 9 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 9 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 9 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 事任講師・ 第 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 事任講師・ 第 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 第 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師・ 事任講師・ 事任課師・ 事任			るために、複数の看護技術を	を統合する基礎的知識・技術・態度を		
方法と基準	2.看護の対象となる人の反応を感じ、省察する 3.対象把握の技術を活用して、対象の状態がわかる 4.看護の基本技術・生活を整える技術を活用して、事例に応じた援助を実施する 5.紙上事例に応じた看護計画を立案し、援助を実施する 6.実施した援助を評価する 7.看護師として必要な態度を表現する					
護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践、ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問			評価全体に占める割合(%)	を示す		
下部である。 下部では、						
1. 統合演習の進め方 自分の生活と他者の生活の違い 2. 地域の中での生活① 地域の特徴、年代や家族での健康維持について 3. 地域の中での生活② 地域の保健医療システム、保健医療上の課題 4. 生活の視点で地域の現、他地域との比較 5. 大りエンテーション 5. 大リエンテーション 6. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 7. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 12. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 13. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 14. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 15. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 16. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 17. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 18. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 19. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 11. 基礎看護学実習 I (後半実習) 前の看護技術確認 12. 基礎看護学実習 I (後半実習) 前の看護技術確認 13. 基礎看護学実習 I (後半実習) 前の看護技術確認 14. 基礎看護学実習 I (後半実習) 前の看護技術確認 15. 基礎看護学実習 I (後半実習) 前の看護技術確認 16. 基礎看護学実習 I (後半実習) 前の看護技術確認 17. 基礎看護学実習 I (後半実習) 前の看護技術確認	多にめたつ(の :	事前学習、事前準備を整え臨むこと	±			
1. 自分の生活と他者の生活の違い	_	 学習内容	学習方法	担当教員		
2. 地域の中での生活① 地域の特徴、年代や家族での健康維持について 3. 地域の中での生活② 地域の保健医療システム、保健医療上の課題 4. 地域の中での生活③ 生活の視点で地域の現、他地域との比較 5. 技術演習確認について オリエンテーション 6. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション 5. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション 5. ブループワーク 東任講師* 第義・演習 東任講師* 東任講師* 東任講師* 東任講師*			グループワーク	専任講師*		
3. 地域の保健医療システム、保健医療上の課題 4. 地域の中での生活③ 生活の視点で地域の現、他地域との比較 5. 技術演習確認について オリエンテーション 6. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 7. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション 第4. 第3. 第4. 第3. 第任講師* 第4. 第4. 第3. 第4. 第4. 第4. 第4. 第4. 第4. 第4. 第4. 第4. 第4	地域の中での生活①	の生活①	グループワーク	専任講師*		
4. 生活の視点で地域の現、他地域との比較クループワーク専任講師*5. 技術演習確認について オリエンテーション講義専任講師*6. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認講義・演習専任講師*7. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認、振り返り講義・演習専任講師*9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認講義・演習専任講師*10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認講義・演習専任講師*11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクショングループワーク専任講師*		•	グループワーク	専任講師*		
5. オリエンテーション 講義・演習 専任講師* 6. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 7. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認、振り返り 講義・演習 専任講師* 9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション グループワーク 専任講師*			グループワーク	専任講師*		
7. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認、振り返り 講義・演習 専任講師* 9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション グループワーク 専任講師*			講義	専任講師*		
8. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認、振り返り 講義・演習 専任講師* 9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション グループワーク 専任講師*	————————————————————————————————————	実習 I (後半実習)前の看護技術確認	講義・演習	専任講師*		
9. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション グループワーク 専任講師* 看護過程とU (21 た授業(1)	- 基礎看護学実習 I (後∜	実習 I (後半実習)前の看護技術確認	講義・演習	専任講師*		
10. 基礎看護学実習 I (後半実習)前の看護技術確認 講義・演習 専任講師* 11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション グループワーク 専任講師*	————————————————————————————————————	実習 I (後半実習)前の看護技術確認、振り返り	講義・演習	専任講師*		
11. 基礎看護学実習 I (後半実習)のリフレクション グループワーク 専任講師* 看護温程といった ! た! ! **	——————————————— 基礎看護学実習 I (後半	実習 I (後半実習)前の看護技術確認	講義·演習	専任講師*		
	— 基礎看護学実習 I (後当	実習 I (後半実習)前の看護技術確認	講義·演習	専任講師*		
看護渦程とリンクした授業①	————————————————————————————————————	実習 I (後半実習)のリフレクション	グループワーク	専任講師*		
12. 事例患者の個別性を考えた援助の実施 講義グループワー 専任講師*	看護過程とリンクした授業① 事例患者の個別性を考えた援助の実施		講義グループワー	専任講師*		
13. 看護過程とリンクした授業② 事例患者の個別性を考えた援助の実施 ダループワーク 専任講師*	看護過程とリンクした授業②		グループワーク	専任講師*		
14. 看護過程とリンクした授業③ 立案した看護計画の実施、経過記録の記述 グループワーク 専任講師*	看護過程とリンクした授業③		グループワーク	専任講師*		
看護過程とリンクした授業③ 立案した看護計画の実施、経過記録の記述 ずループワーク 専任講師*	看護過程とリンクした授	リンクした授業③	グループワーク	専任講師*		
16. 看護過程とリンクした授業④ 看護計画の追加・修正 グループワーク	看護過程とリンクした授	リンクした授業④	グループワーク	專任講師*		
17. 看護過程とリンクした授業⑤ グループワーク 専任講師*	看護過程とリンクした授	リンクした授業⑤	グループワーク	専任講師*		
18. 看護計画に沿った援助の実施 グループワーク 専任講師*	看護過程とリンクした授	リンクした授業⑤	グループワーク	専任講師*		

No	学習内容	学習方法	担当教員
19.	看護過程とリンクした授業⑥ 看護計画の評価	講義	専任講師*
20.	静脈内採血について	講義	専任講師*
21.	モデル人形への静脈内採血	演習	専任講師*
22.	モデル人形への静脈内採血	演習	専任講師*
23.	統合演習のまとめ	講義	専任講師*